

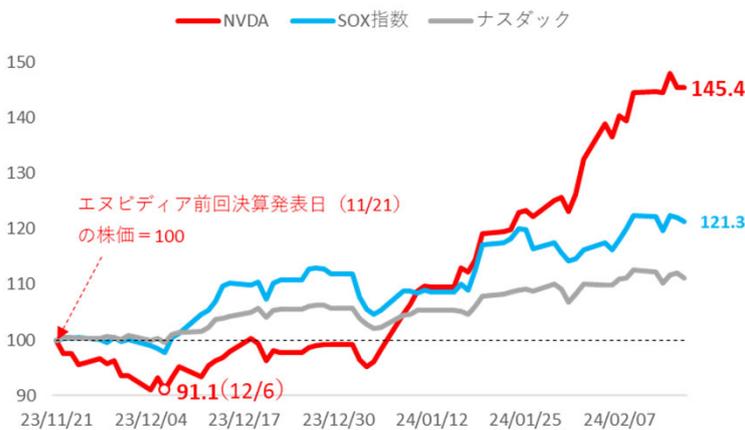


NVIDIA決算後の米株 頭の体操

◆注目のNVIDIA決算は「噂で買って事実で売る」の典型か？

- NVIDIAの前回決算（11/21）は「予想こそ上回った」が「予想を大幅には上回らなかった」⇒この理由で株価は翌日約▲2.5%下落（図表①）
- NVIDIA株はその後約10日間で▲9%続落（調整相場閾値▲10%には届かず）、この反応は「噂で買って事実で売る」の典型
- その後の展開はご存知の通り、足元まで+45%上昇
- 今回の決算も「良い」だろうが、市場予想を「大幅に」上回らないと前回決算後の展開と同じく上昇一服～調整が視野に
- 但し、AI相場はまだ始まったばかりと見られ（2/8送付の松波塾ナスダック、SOXの上昇はまだ初期段階？）、調整後は再上昇を想定 参照：https://www.nam.co.jp/news/mpdf/240208_kh.pdf
- 米国株の季節性は2月一旦ピークアウト3月軟調⇒NVIDIA決算後調整が3月まで続くなら過去の季節性に符合（図表②）

【図表1】NVIDIAの前回決算は「噂で買って事実で売る」の典型相場



（図表1）Bloombergのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

【図表2】SOX指数の過去20年間の季節性



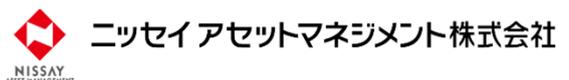
※本稿に記載された意見、推定、見通しは、本稿の日付時点における執筆者の分析・判断に基づいています。それらは必ずしもニッセイアセットマネジメントの意見を反映しているとは限らず、また予告なしに変更される場合があります。



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



商号等： ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第369号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>